

聴き伝わるもの、聴き伝えるもの

— 20世紀音楽から未来に向けて —

第12夜

レスポンス・ブレイズとの レポソリウム

ハインツ・ホリガー：詩篇 (1971) Heinz Holliger : Psalm 混声合唱 国立音楽大学演奏・創作学科「現代音楽演奏実習」履修生・卒業生 有志

オリヴィエ・メシアン：「オルガンの書」より 第3曲、第4曲、第6曲 (1951) Olivier Messiaen : Livre d'orgue III. IV. VI.

オルガン 近藤 岳

森垣 桂一：合奏協奏曲～フルート、クラリネット、トランペットと室内オーケストラのための～【2017年度国立音楽大学委嘱作品・世界初演】

Keiichi Morigaki : CONCERTO GROSSO for flute, clarinet, trumpet and chamber orchestra

フルートソロ 大友 太郎 / クラリネットソロ 武田 忠善 / トランペットソロ 山本 英助 / ピアノ 井上 郷子 / コントラバス 志賀 信雄 / パーカッション 濱崎 理絵

指揮 森垣 桂一 / 室内アンサンブル クニタチ・フィルハーモニー

ピエール・ブーレーズ：レポン～6人のソリスト、電子音響装置とアンサンブルのための～(1981-84/2005/改訂版 日本初演) Pierre Boulez : Répons

ピアノ 今村 央子、石井 佑輔 / ハープ 三浦 麻葉 / ヴィブラフォン 馬場 栗 / グロッケンシュピール 佐藤 綾 / ツインバロン 亀尾 洗一 / エレクトロニクス 今井 慎太郎

指揮 板倉 康明 / 室内アンサンブル クニタチ・フィルハーモニー

企画 今村央子、川島 素晴、今井 慎太郎

2017年11月11日(土) 16:00開演 15:00開場 15:15より「プレ・トーク」を行います。

国立音楽大学講堂 大ホール

西武拝島線 / 多摩都市モノレール「玉川上水」駅下車徒歩7分 ※演奏会当日は学生駐車場を無料でご利用いただけます。

全席自由 一般 1,500円 | 学生 500円 発売中



※就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、曲目・演奏者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※入場料収入の一部は本学の奨学制度充実のための資金として、活用させていただいております。

お問合せ ▶ 国立音楽大学演奏センター 042-535-9535

【主催】国立音楽大学 <http://www.kunitachi.ac.jp/>

【制作】国立音楽大学演奏センター

【後援】日本現代音楽協会、一般社団法人 日本作曲家協議会
在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本

【助成】公益財団法人 ロームミュージックファンデーション



聴き伝わるもの、聴き伝えるもの —20世紀音楽から未来に向けて—

第12夜 ブーレーズとのレスポンソリウム

精選された現代作品(聴き伝わるもの)と新作(聴き伝えるもの)により構成される本シリーズ。今回は、昨年逝去したクラシック音楽界最大の巨匠、ピエール・ブーレーズへの追悼の意を含め、6名のソリスト、24名の管弦楽、ライブエレクトロニクスによる『レポン』を核として開催する。日本における『レポン』の上演は1995年以来22年ぶり2度目、そして本学教員や学生、即ち日本人のみによる初の上演であり、世界的にも希少な2005年の決定稿(2016年出版)による上演(この版による日本初演)である。

この『レポン』を軸に、ブーレーズの師メシアン(没後25年)の『オルガンの書』、ブーレーズの弟子ホリガーの合唱曲『詩篇』、そしてメシアンの薫陶を受けた本学教員の森垣桂一による委嘱新作で構成。森垣作品は本学教授陣をソリストに据えた『合奏協奏曲』であり、ブーレーズ作品と対を成す。

ブーレーズ作品とそれに連なる系譜による、時空を超えたレスポンソリウム(応唱)に思いを馳せるひとときをご堪能ください。

企画 川島素晴(国立音楽大学准教授)

PROFILES



作曲・指揮 | 森垣桂一 Keiichi Morigaki, composer/conductor

東京藝術大学作曲科卒業。1975年より、パリ国立高等音楽院で音楽理論と作曲を学ぶ。第42回日本音楽コンクール作曲部門第1位受賞。第27回ヴィオッティ国際音楽コンクール作曲部門入賞。オーケストラ・プロジェクト'99の作曲者として平成12年度芸術祭優秀賞受賞。1998年、サンクトペテルブルク音楽院オペラ・シンフォニー指揮科卒業。東京学芸大学特任教授、桐朋学園大学講師を歴任、現在、国立音楽大学および大学院教授・東京藝術大学非常勤講師。日本現代音楽協会理事。近作に、オーケストラのための「レクイエム第2番《イン・メモリー

アム》」(2003改訂)、「エクスプレッションズ第2番〜弦楽四重奏のために〜」(2006)、源氏物語より「夕顔」(2006)、「ヴァイオリン協奏曲」(2006)、「エクスプレッションズ第4番〜弦楽オーケストラ、打楽器、ピアノのための〜」[国立音楽大学委嘱](2007)、オーケストラのための「レクイエム第3番」(2008)、室内交響曲第1番「グリーン」(2010)、「レクイエム第4番」(2012)、打楽器アンサンブルのための「ミステリウム」[国立音楽大学委嘱](2015)「ヴァイオリン協奏曲第2番」(2016)、「パルティータ〜弦楽五重奏のための〜」(2017)等がある。



指揮 | 板倉康明 Yasuaki Itakura, conductor

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部卒業。フランス政府給費留学生として渡仏し、パリ市立音楽院、パリ国立高等音楽院を卒業。故アンリエット・ピュイグ＝ロジェ氏から深い薫陶を受け、現在の多彩な演奏活動の礎を築いた。クラリネット奏者として東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。1996年横浜の第三回神奈川芸術フェスティバルで西村朗作品により指揮デビュー。以後、現代作品を中心に、活発な指揮活動を行っている。これまでに、サントリー・サマーフェスティバル、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、オーケストラアンサンブル金沢定期公演、プレゾンス音楽祭(フランス)、ミュージック・フロム・ジャパン

(ニューヨーク)、現代音楽アспект(カーンフランス)等、国内外の音楽祭に招聘されている。

指揮者としてのレパートリーは広範囲に渡り、特に現代作品の演奏には各方面から高い評価を得ている。

2016年は、ボルドー・アキテーヌ国立管弦楽団定期公演を客演指揮、また、サントリー・サマーフェスティバルのプロデューサーを務め2公演の指揮を行った。

2001年より東京シンフォニエッタ音楽監督就任。第18回中島健蔵音楽賞を受賞。1997年度、1999年度、2015年度日本音楽コンクール委員会特別賞を受賞。国立音楽大学客員教授。

聴き伝わるもの、聴き伝えるもの 第1夜〜第11夜 —20世紀音楽から未来に向けて—

第1夜 | 20世紀前半の音楽…

2005年6月21日(火)

シェーンベルク「室内交響曲第1番」、メシアン「異国の鳥たち」、及び、ドビュッシー、ウェーバー、バルトーク、ヴァレーズ の作品

第2夜 | 20世紀後半から21世紀の音楽

2006年10月7日(土)

ベリオ「カーヴで見出す点…」、ライヒ「シティ・ライフ」、及び、リゲティ、ミュライユ、T.マイヤー＝フィービッヒ、福土則夫 の作品

第3夜 | アメリカ実験音楽の風景

2007年10月28日(日)

ケージ「プリペアド・ピアノ協奏曲」、北爪道夫「流れ・II」、及び、アイヴス、ブラウン、クラム、フェルドマン、森垣桂一 の作品

第4夜 | ヨーロッパ20世紀音楽の巨匠たち

2008年10月26日(日)

B.A.ツィンマーマン「ユビウ王の晩餐のための音楽」、及び、ストラヴィンスキー、バルトーク、クセナキス、メシアン、藤井喬梓 の作品

第5夜 | 音楽と身体〜カーゲル追悼(田中泯を迎えて)

2009年10月25日(日)

カーゲル「ディヴェルティメント?」、フェルドマン「Why Patterns?」、及び、ティエリー・デ・メイ、川島素晴、今村央子 の作品

第6夜 | 八村義夫とアジア

2011年11月13日(日)

八村義夫「彼岸花の幻想」「星辰譜」「ブリージング・フィールド」、及び、ジュリアン・ユウ、尹伊桑、渡辺俊哉 の作品

第7夜 | ケージ&ナンカロウ生誕100年〜現在への射程〜

2012年11月10日(土)

ルトスワフスキ「ヴェネツィアの遊び」、リゲティ「ピアノ協奏曲」、及び、ケージ、ナンカロウ、山口博史 の作品

第8夜 | 日本の協奏的作品の地平

2013年11月9日(土)

武満徹「七つの丘の出来事」、川島素晴「或る森の出来事」、及び、挟間美帆、細川俊夫、北爪道夫 の作品

第9夜 | 「音響空間」の世界

2014年11月8日(土)

グリゼー「連作《音響空間》より」、湯浅譲二「演奏詩《呼びかわし》」、及び、T.マイヤー＝フィービッヒ の作品

第10夜 | 現代ドイツ音楽と笙の世界

2015年11月7日(土)

ラッヘンマン「ムーヴマン」、細川俊夫「ランドスケープV」、及び、シュネーベル、アレキサンダー・シューベルト、今井慎太郎 の作品

第11夜 | 東アジア、東南アジアにおける現代音楽の系譜

2016年11月19日(土)

譚盾「内部奏法ピアノと10楽器のための協奏曲」、一柳慧「札幌」及び、ダオ、馬水龍、K.チャングウィツチュカーン、藤井喬梓 の作品